

防災士として対策を推進

# 安全・安心の南区・横浜を

横浜市会議員 仁田まさとし

今年も「3・11」の前  
後にはさまざまな防災に  
関する報道がなされまし  
た。その中で私は南区内  
を回り、▽横浜市で30年  
以内に、震度6弱以上の

に十分な意識・知識・技  
能を有する者として認め  
られた人」と定義されて  
います。その活動は、主  
として地震や水害、火山  
噴火、土砂災害などの災

大きな地震が起きる確率  
は82%▽「土砂災害計画  
区域」が横浜市内で最も  
多い南区▽防災対策は待  
ったなしの課題です▽皆  
さん！防災の準備はでき

助、協働を原則として、  
かつ、公助との連携充実  
につとめ、社会の様々な  
場で減災と社会の防災力  
向上のための活動が期待  
され、さらに、そのため

阪神淡路大震災を契機  
として設立された防災士  
機構（法人設立時会長II  
貝原元兵衛県知事）の主  
旨に私は賛同し、防災士  
資格を取得しました。

現在では小学生から大学  
生までは25人以上的場合  
に、団体乗車券が適用さ  
れ、割引率は2割になり  
ます。中学生は部活動の  
練習や試合、課外活動な  
どのために地下鉄で移動  
することが多く、交通費  
の負担が大きいです。



**仁田まさとし プロフィール**

- 建築・都市整備・道路委員会
- 減災対策推進特別委員会（副委員長）
- ◇ 施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- f ⑨ ライン 情報発信中

自助、共助を推進する  
とともに、防災・減災の  
ための公助の充実が重要  
です。

私には防災士として、こ  
れからも南区の防災・減  
災対策を推進し、安全・  
安心の南区、横浜を築き、  
中学生の課外活動がしや  
すい環境づくりに全力で  
取り組んでいきます。

## 地下鉄の中学生の割引拡大へ 団体乗車

2019年度の予算案  
などを審議する市会定例  
会が3月19日まで行われ  
ました。

この中で提案していた  
中学生の市営地下鉄団体  
乗車時の割引拡大が20年  
度中に始まる方針が市か  
ら示されました。

現在では小学生から大学  
生までは25人以上的場合  
に、団体乗車券が適用さ  
れ、割引率は2割になり  
ます。中学生は部活動の  
練習や試合、課外活動な  
どのために地下鉄で移動  
することが多く、交通費  
の負担が大きいです。

注目していることは、  
庁舎や学校、病院など、  
災害時に防災拠点となる  
施設に非常用電源設備や  
夜間照明、公衆無線LAN  
N (WiFi) などの  
設置を進め、防災の拠り  
所となる拠点機能を強化  
する必要があると強く感  
じています。